

2026年度 9月4日 今年度大テーマ《食育活動を通して、食への興味関心・食べることへの意欲を高めよう！》

今回のテーマ：野菜の中はどうなっているのかな？野菜をちぎってみよう！



キャベツって
こんなに
重いんだ！！



またキャベツが
でてきた！！



すこしだけ
さわってみようかな

ひっぱるの
たのしいな♪



ひとりでがんばって
ひっぱるぞ～！



【活動内容】

- ① 『きゃべつの中からあおむしでたよ』の手遊びをおこなう
- ② はらぺこあおむしの絵本をみる
- ③ これは何の野菜かなクイズをおこなう
- ④ キャベツに少し興味をもったタイミングで実際のキャベツを見る
- ⑤ キャベツの断面を見たり、持って重さを感じたり、剥いたり千切ったり、においを嗅いだりしてみる
- ⑥ 給食のスープにキャベツが登場。みんなが千切ってくれたキャベツであることを伝える。(実際には子どもが触れていないキャベツを給食で使用しています。)

【活動中の子どもの姿・子ども同士や保育者との関わり】

- ・キャベツを両手でしっかりと持ち上げ、重さを感じていた。
- ・キャベツの断面に興味をもち見ていた。
- ・キャベツを剥いたり、千切ったりする作業を楽しんでいた。
- ・上手に剥けると保育士にむかって嬉しそうに見せていた。
- ・給食のキャベツを指さして、ジェスチャーで『自分が剥いたキャベツだ』と教えていた。

【振り返り・振り返りによって得た先生の気づき】

- ・野菜に触れるのが苦手な子も、指先でキャベツを突いてみたりと、少しだけ触れることができていた。
- ・成長と共に力がついてきたり、こまかい手先の動きができるようになってきた為、剥いたり千切ったりする作業に夢中になっていた。今後も子どもたちが楽しいと思える成長段階に合わせた作業を食育に取り入れていきたい。